



なかなか終息の見えない新型コロナウイルス禍の中、第六十八回江別市民文化祭が開催されました。「響かせよう伝え合おう文化の心」を合言葉で感染防止に努め無事に孔版画展を終わらせて戴きました。掲出した額入り作品は二十点、他に作品集、令和四年度カレンダー、年九回作成の豆本、年始めの書き初め、全国交流年賀状の展示等。尚今年の来場者は百七十八名

68th 江別市民文化祭

### 孔版画展

- 令和3年11月3日～11月5日
- 江別中央公民館

と前年より少し増えています。

孔版画同好会の活動歴は今年で五十四年になります。活動の拠点は江別中央公民館で、月一回孔版画の技法研修と個々の作品の合評等を行っています。

今年は特に、永年に亘る孔版画活動が、市民芸術文化活動に貢献したとして、団体奨励賞を市文化協会から戴きました。名誉な受賞を少人数の会員一同感謝して居ます。

全国的にも孔版画を作成している作家が減少しています。孔版画の技法伝承には、会員の新加入を願わざるを得ません。月一回の例会があります。お気軽に見学にお越し下さい。

(孔版画同好会代表 佐藤 貞男)







客演指揮に横山琢哉氏を迎えて



混声合唱団「樹（じゅ）」は平成二十二年四月常任指揮者横山直樹先生のもとに集まった仲間により結成されました。平成二十九年五月に第一回演奏会を開催、令和二年五月に創立十周年を記念して第二回演奏会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症まん延により一年延期。予定した令和三年五月三十日も緊急事態宣言が出され開催が危ぶまれましたが、江別市ならびに江別市教育委員会のご配慮で十分な感染対策をして無事開催することができました。また江別

令和3年度 芸術文化特別記念事業

## 創立10周年記念 混声合唱団「樹」 第2回演奏会開催

- 令和3年5月30日
- えぼあホール



「心の四季を歌う合唱団」とともに

市文化協会より特別記念事業助成金をいただき感謝申し上げます。  
本演奏会は常任指揮者横山直樹先生の傘寿&指揮者生活六十周年記念でもありました。東京で合唱指揮者として活躍している息子さんの横山琢也先生を客演指揮として迎えし、また合唱の名曲「心の四季」を多くの演奏団員と共に歌いかわすことができました。コロナ禍が続きますが、何とか練習を続け令和五年には第三回演奏会を開催したいと思っています。

(代表 井澤 明宏)

68th 江別市民文化祭

## エイベッツ バンドカーニバル

- 令和3年10月10日
- えぼあホール

去年はコロナ禍により開催出来なかったエイベッツバンドカーニバルですが、今年ガイドラインに従い、座席間の距離の確保、定期的な換気と消毒、演者及び来場者の名簿作り等々、出来る限りの感染予防対策を行い無事開催することが出来ました。

イベント自体も今後の開催に活かせるよう試行錯誤しながらも、大成功だったと思っています。これはエイベッツバンドカーニバルに関わる市の関係者や教育委員会の皆さん、スタッフさん、演者さん、来場されたお客様の協力によるものです。本当にありがとうございます。

二年前は演者として出演しましたが、前任代表の退任により、イベント自体が消滅しそうところだったので「エイベッツを無くしたくない！是非続けたい！」との思いから、私が引き継ぐ事になりました。  
初めての事でわからないことも多く、



お手数をお掛けする事もありましたが、周りの方々に助けられ無事終えることが出来ました。この場をお借りして、お世話になった皆様に感謝申し上げます。

令和四年の開催日（十一月六日）も決まり、今回の良かった点や反省点を活かし、より一層良いイベントにしたいと思っていますので、次回もまたエイベッツバンドカーニバルを宜しく願います。

(代表 佐藤 深雪)



68th 江別市民文化祭

江別市野幌太々神楽伝承会  
創立25周年記念公演

### 第20回 野幌の舞

令和3年10月24日  
えぼあホール

コロナにより延期となっていた記念公演を行いました。観客百十名参加者五十八名。野幌太々神楽保存会、黒森流西の里権現舞の会に賛助出演いただき、奉幣・稚児舞・権現舞・羽返し・泰平楽・悪魔祓（保存会）の演目を披露することができました。令和四年は十月二十三日（日）野幌公民館にて発表会を行う予定です。

（江別市野幌太々神楽伝承会 池田典子）

68th 江別市民文化祭

### 市民盆栽展

令和3年11月3日～5日  
野幌公民館ホール



第六十八回江別市民文化祭 市民盆栽展が令和三年十一月三日（水・祝）より、十一月五日（金）まで野幌公民館ホールにて開催されました。

市民盆栽展は文化協会所属の江別盆栽同好会会員のみの参加となり十三席、四十五点の作品展示となりました。

新型コロナウイルス感染症の動向により研修会が全て中止となるなか文化祭参加は会員に大きな負担を強いる事になり、心配されましたが無事全会員の参加を頂くことができました。

来年は安全で安心のなか市民文化祭が開催されることを望みます。

（江別市盆栽同好会 中川 隆）

68th 江別市民文化祭

## 短歌大会

令和3年10月24日  
野幌公民館

#### 江別市長賞

あいさつのやうに秋風吹いて来て  
私の中のコスモス揺らす

梶原佳鶴子

#### 江別市議会議長賞

自動ドアに面会禁止の大書あり  
秋風スーと奥まで通る

松本 綾子

#### 江別市教育長賞

いつよりか健やかならぬと知る身体  
九月の鏡ほそき髪梳く

大島 愛子

#### 江別市文化協会理事長賞

ひととせはゆくりなく流れ人皆は  
見えざるものにおびえつづけて

湯浅 悦子

#### 江別短歌会会長賞

吾亦紅のひと節庭木にたてかけて  
秋の終わりの草ひきてをり

岡田 雅子

#### 北海道新聞社賞

杖をつき家の回りを歩きたる  
亡き姉思ふ夕映えの空

菅野 礼子



#### 朝日新聞社賞

秋高し声をひそめるかんたんに  
茗荷とる手をしばし休める

二川原 登

#### 高校生・中学生の部入賞作品

##### ● 高校生の部

酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校

二年 池田ゆきほ

##### ● 中学生の部

目元だけマスクの下はどんな顔  
一年経ってもわからないまま

#### 地賞

行事なく高校生活終わりそう  
思い出すすべてマスクと共に

三年 堂前 友結

人賞

酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校

一年 田島 七海

夢のためこの学校で学びゆく  
気持と不安背おいながらも

秀作

立命館慶祥高等学校

二年 原田 佳苗

戻りゆくえぼあに溢るる皆の笑み  
若人の歌もはよ響き渡れ

酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校

一年 久保木 曉美

マスクして少し離れているけれど  
強く感じる会える喜び

北海道江別高等学校

三年 杉澤 紫方

扇風機部屋の隅っこ置き去りに  
十八の夏もう戻れない

酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校

一年 後藤 美佳

高校も半年目なのにまだ迷う  
五ヶ月ぶりの対面授業

北海道江別高等学校

三年 佐藤穂希華

教室に聞こえる声の高低差  
大人になったと実感をする

●中学生の部

天賞

江別市立大麻東中学校

二年 津村 妃南

手がふるえ緊張するな一本目  
シュートよ決まれ逆転勝ちだ

地賞

江別市立中央中学校

二年 石崎 理菜

おいコロナ我らの青春どこいった  
大人は会食子供は我慢

人賞

江別市立大麻中学校

二年 津川 柊

期末こそいい点とれよと笑う父  
重りのごとき親からの期待

秀作

江別市立第一中学校

二年 苗加 結南

夏の夜雨音聞いてしみじみと  
残りの休み指で数える

江別市立大麻東中学校

二年 藤田 晃輝

コロナ禍で制限された生活は  
慣れてしまいが慣れたくはない

江別市立大麻東中学校

二年 生田 那奈

ほんとうは伝えたいんだありがとう  
反抗期って厄介だなあ

江別市立中央中学校

二年 北畑 悠里

雨上がり雫が落ちて輝く葉  
虹がかかって空をいろどる

江別市立大麻中学校

二年 秋田 陽花

朝読書小鳥のさえずり聞きながら  
季節を感じページを一枚

短歌を詠みませんか

【会費】  
入会金なし、年会費1,500円  
その他歌集費1,500円。

【問い合わせ先】  
事務局 菅野礼子  
TEL 011-385-5676

68th 江別市民文化祭

俳句大会

令和3年10月31日  
中央公民館

●一般の部入賞作品

市長賞

ジェンダーフリーの土偶立ちませ真夜の月

中村ひろむ

議長賞

搾乳の音のみ聞こゆ霧の中

横山いさを

教育長賞

ひそやかに金属疲労秋の薔薇

長野 君代

文化協会理事長賞

新しき杭打たれをり草の花

古川ウヰ子

横山いさを講師賞

葦だけが残る故郷草の花

安井 強

人間にちよつと疲れて草の花

折原 博美

●中学生の部入賞作品

天賞

帰り道どこまで続く罫雲

大麻東中学校 三年 佐藤 陽日

地賞

秋の風ピアノの音色校舎から

中央中学校 三年 角田 愛佳

人賞

炎天下強い打球に食らいつく

中央中学校 三年 細川 慶斗

優秀賞

コロナワクチン打つ決断の秋夕焼

江別第二中学校 一年 佐々木裕太